設置時のご案内

クイックセットアップガイド

StorageAxes
ストレージアクセス

　この度は、ソフトウエア・トゥー StorageAxes（ストレージアクセス）をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
StorageAxes クイックセットアップガイドでは、MacOS X クライアントからの共有ポイントへのアクセス方法やリモート接続して
サーバー側の設定追加や変更方法など、導入時に必要な説明をさせていただいております。
詳しくは、ソフトウエアマニュアル、取扱説明書などをご参照ください。

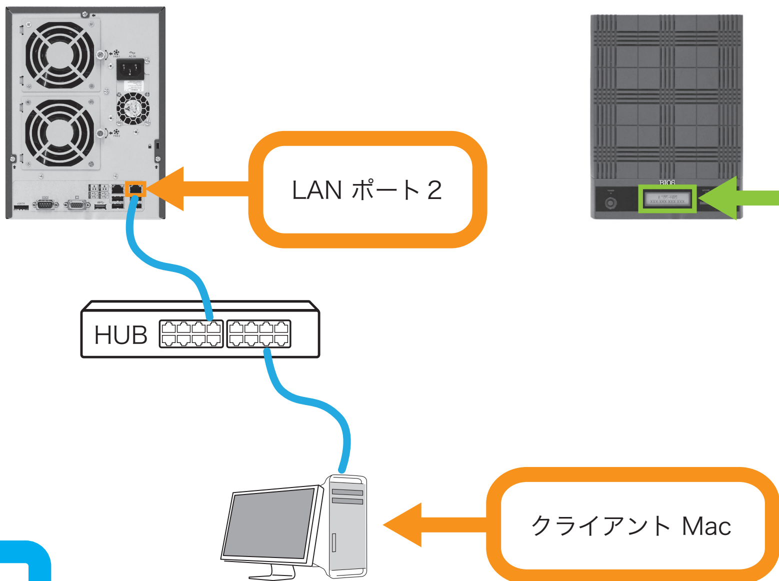
v.8.1.1

1 ネットワークケーブル接続

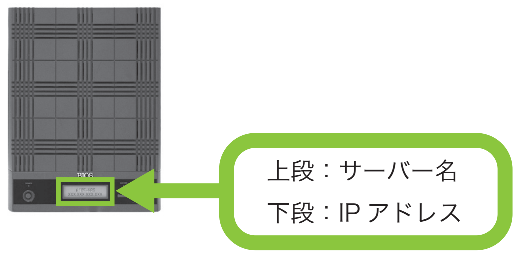
本製品は DHCP より IP アドレスを自動取得するよう設定されております。
LAN ポートが２つありますが、「 LAN ポート２ 」へネットワークケーブルを接続してください。

「 LAN ポート２ 」へネットワークケーブルを接続して電源を入れますと DHCP から IP アドレスを取得して
本体正面の LCD に自動取得した IP アドレスが表示されます。

■本体背面「 LAN ポート 」位置



■本体正面「 LCD 」位置



2 初期設定

予め、アクセスユーザー／グループや共有ボリュームが設定されております。その設定についてご案内します。

■ユーザーとグループ

ユーザー名	パスワード	グループ名	アクセスレベル
Administrator	admin	Administrators	管理者ユーザー
sauser	sapass	sausers	一般ユーザー
ゲスト	-	-	ゲスト

■共有ボリューム

共有ボリューム名	共有ボリュームディレクトリパス
AxesFolder01	D:¥Shared¥AxesFolder01
AxesFolder02	D:¥Shared¥AxesFolder02
Public	D:¥Public

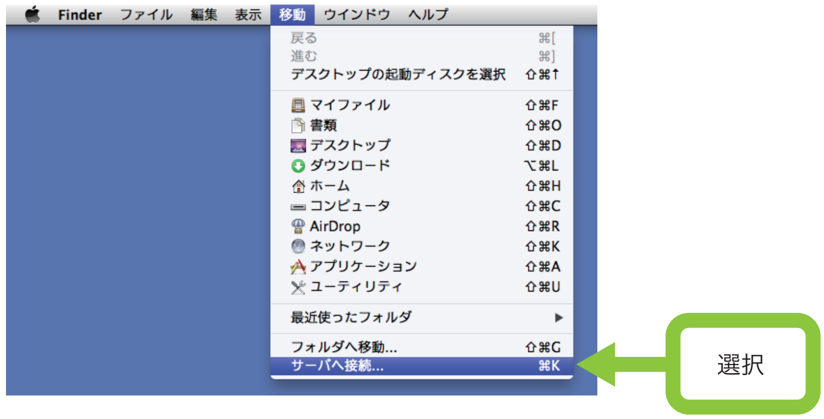
■各共有ボリュームに対するアクセス権

共有ボリューム名	Administrators	sausers	ゲスト
AxesFolder01	読み／書き	読み／書き	アクセス不可
AxesFolder02	読み／書き	読み／書き	読み／書き
Public	読み／書き	読み／書き	読み／書き

3 共有ボリュームへのアクセス方法

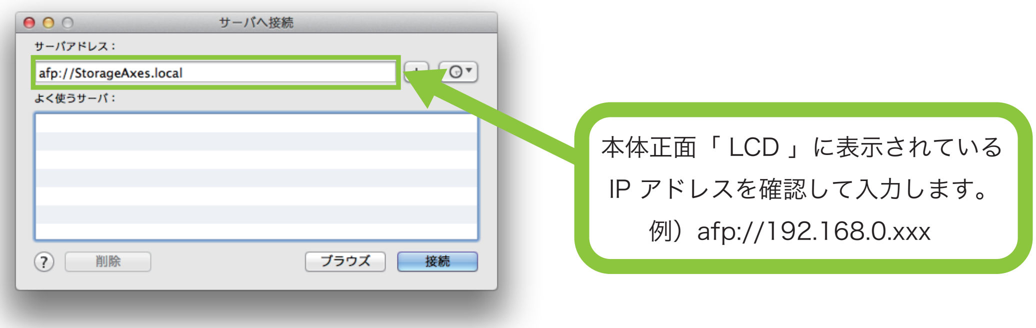
MacOS X クライアントからのアクセス手順 (AFP 共有)

①「移動」から「サーバへ接続」を選択して、ウインドウを開きます。



②「サーバアドレス欄」に「afp:// IP アドレス」

　　または「afp://StorageAxes.local」と入力して接続ボタンをクリックします。



③ ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

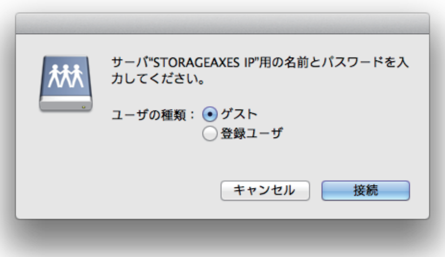
　　登録ユーザ名：sauser　パスワード：sapass

　　または「ゲスト」を選択して接続ボタンをクリックします。

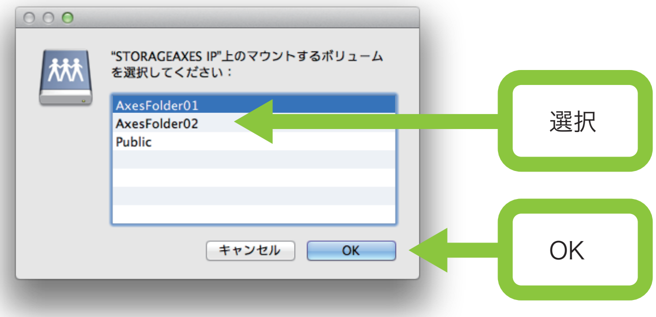
■「 登録ユーザ 」でアクセスする場合



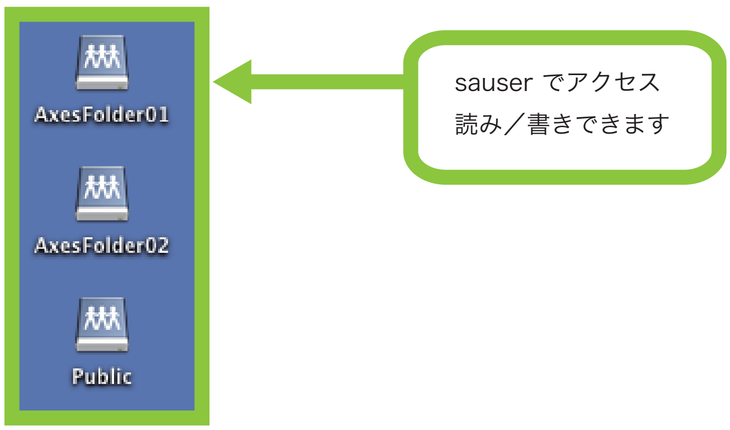
■「 ゲスト 」でアクセスする場合



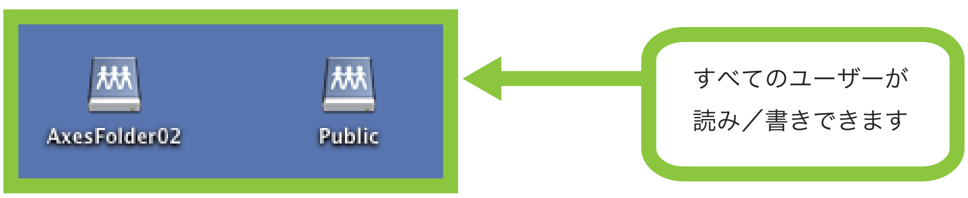
④共有ボリューム選択ウインドウが現れますので、マウントしたいボリューム名を選択して
「OK」ボタンをクリックします。



⑤デスクトップに共有ボリュームがマウントします。



sauser でアクセスした場合３つの共有ボリュームを
マウントすることができます。



ゲストでアクセスした場合２つの共有ボリュームを
マウントすることができます。

このほか、StorageAxes の初期セットアップに関連する技術情報として、SWToo サポートブログのページに公開されております。
以下、公開中の項目名とページ URL です。こちらは不定期に追加してまいります。

1）ローカルセキュリティポリシーの設定方法
http://www.swtoo.com/technicalinfo/storageaxes/tech/saxes001.html

2）ExtremeZ-IP 共有ボリュームに対するアクセス許可の設定方法
http://www.swtoo.com/technicalinfo/storageaxes/tech/saxes002.html

4 管理画面への接続

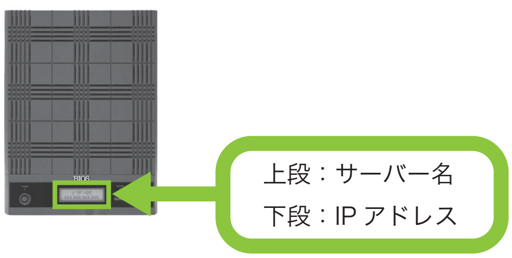
本製品背面には、モニタを接続ための「 VGA ディスプレイポート 」や、キーボードやマウスを接続するための「 USB ポート 」を持っております。　モニタやキーボードマウスを接続していただく事によって、Windows OS 搭載サーバー同様の設定操作を行っていただけます。
モニタやキーボードマウスを接続することなく、他のコンピュータ（ Mac OS X ）からのリモート操作で設定の追加変更していただくこともできますのでご案内します。

5 Mac OS X からリモート操作

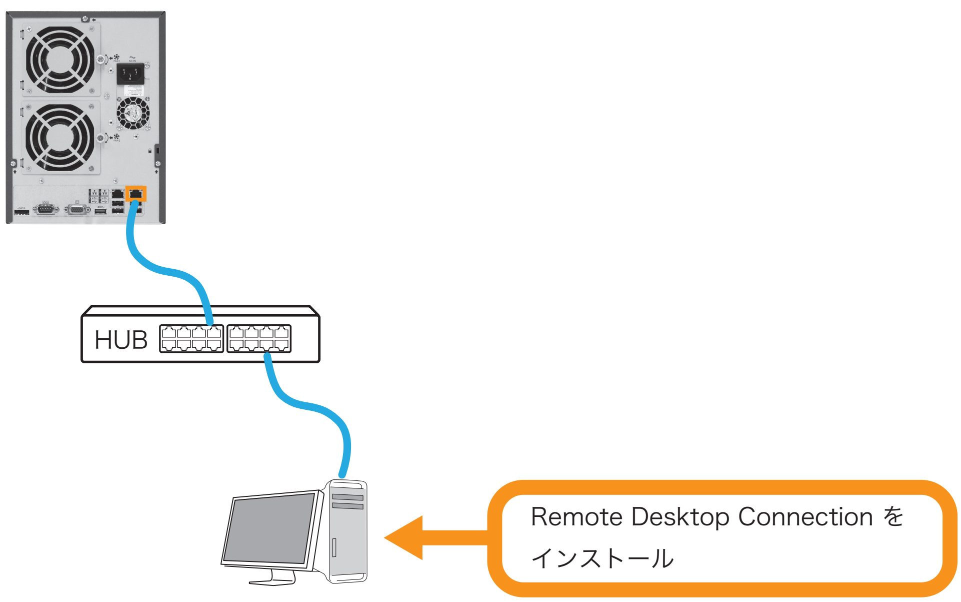
Mac OS X からリモート操作を行うために、無償ダウンロードプログラムをインターネットよりダウンロードします。

無償ダウンロードプログラム名：Remote Desktop Connection
※提供元：マイクロソフト
※Intel プロセッサを搭載した Mac でのみネイティブに実行できます。

■本体正面「 LCD 」で IP アドレスの確認



■Mac OS X からリモート操作

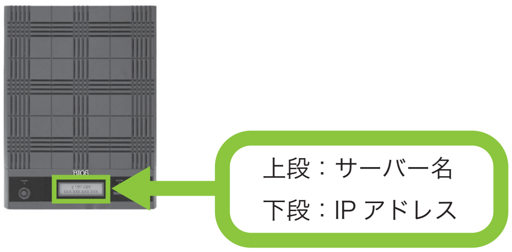


※Intel プロセッサを搭載した Mac でのみネイティブに実行できます。

6 リモート接続

本製品正面の電源ボタンを押し電源を入れてからしばらくお待ちください。

■本体正面「 LCD 」で IP アドレスの確認



■Mac OS X からリモート操作

インストールした「 Remote Desktop Connection 」を起動します。

① コンピュータ入力欄へ IP アドレスを入力して「 接続 」ボタンをクリックします。



② ユーザー名とパスワードを入力して「 OK 」ボタンをクリックします。

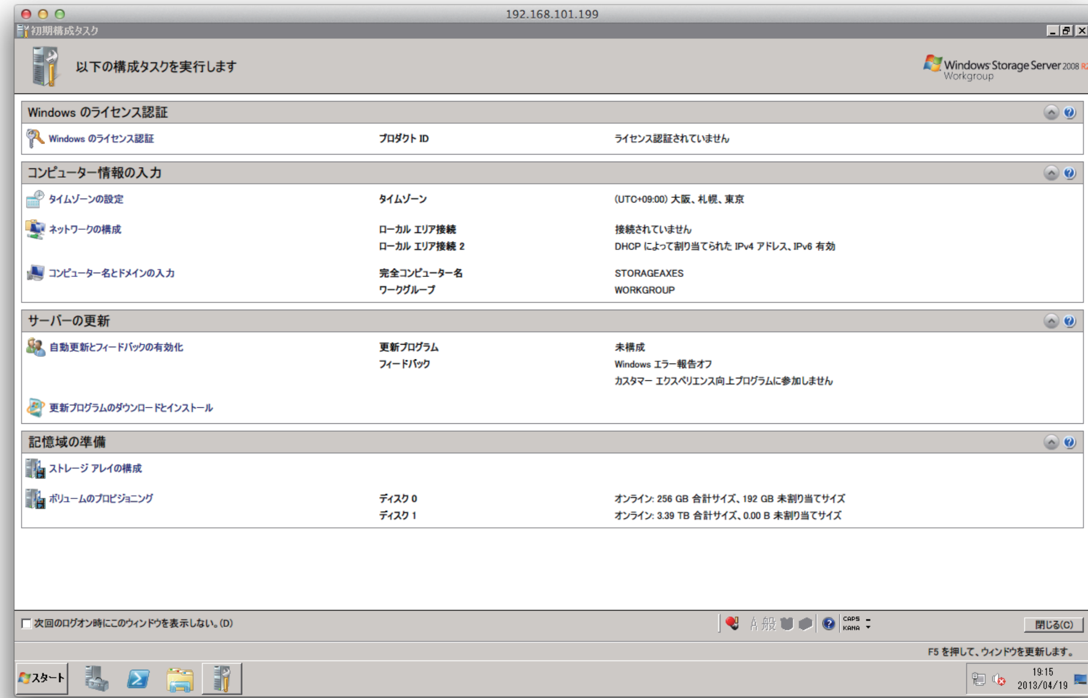
※ 「 ドメイン 」については、入力する必要はありません。 必要に応じて入力してください。



③「 証明書のサーバー名が正しくありません。」と警告が出ますが「 接続 」ボタンをクリックします。



④ リモート接続が確立されてからしばらく待つと「 初期設定タスク 」が表示されます。



⑤「 初期設定タスク 」からサーバーの名前や IP アドレスなどの変更を行うことができます。
詳細につきましては、本製品付属の「 ユーティリティディスク 」に含まれている
ソフトウエアマニュアルでご確認ください。

付属のソフトウエアマニュアル

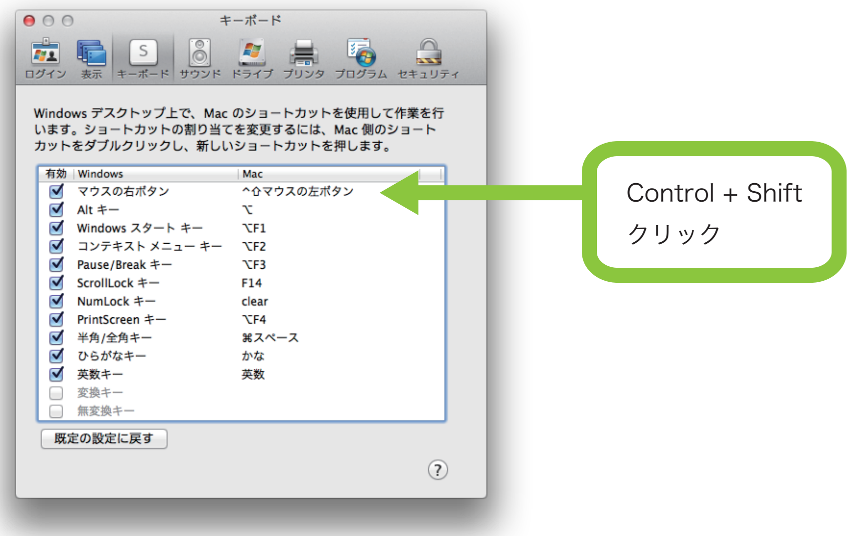
■コンピュータ名を変更する
■ IP アドレスを固定する
■ユーザーとグループの登録
■フォルダの共有とアクセス権の設定

⑥ Remote Desktop Connection でリモート接続中にコンテキストメニューを利用したい場合、環境設定をご確認ください。

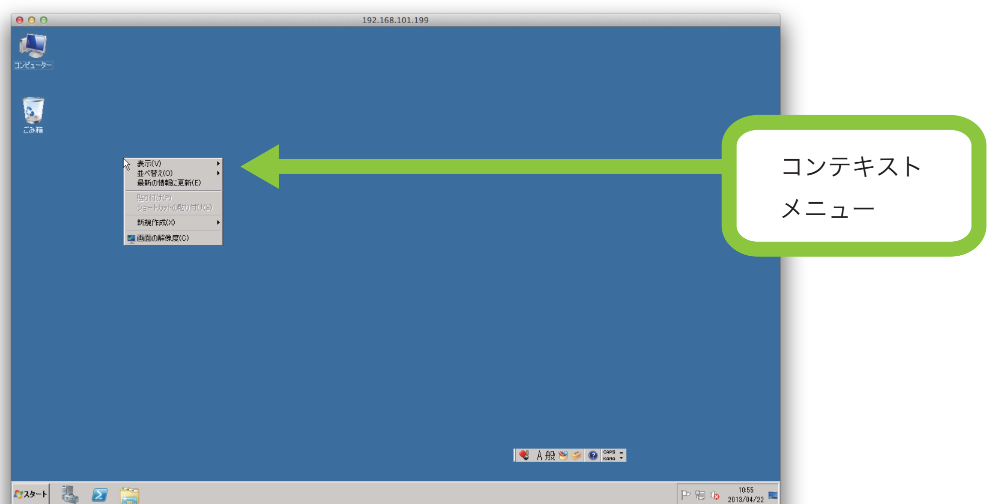


⑦ キーボードタブ（アイコン）をクリックすると、下図のようなウインドウが表示します。
マウスの右ボタンに対して設定されているキーボードショートカットを確認することができます。

Windows マウスの右ボタン　＝　コントロールキーとシフトキーを押しながらクリック



RDC リモート画面



7 Windows クライアント

StorageAxes へ Windows PC からアクセスする際のユーザー名／パスワード認証を有効にするためには、下記を参考に設定してください。

①事前準備その 1

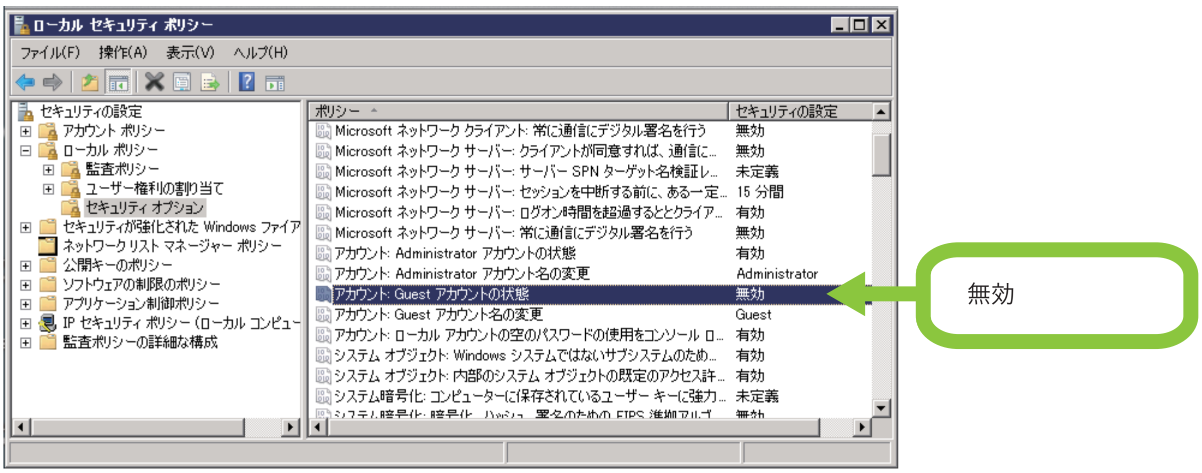
〇ローカルセキュリティポリシー

〇セキュリティオプション

〇アカウント：Guest アカウントの状態　（値：無効）

解説：

無効に設定する事によって、Windows XP および Windows 7 クライアントからアクセスする際に「ユーザー名」および「パスワード」の入力を求める。



②事前準備その 2

〇ネットワークと共有センター

〇共有の詳細設定の変更

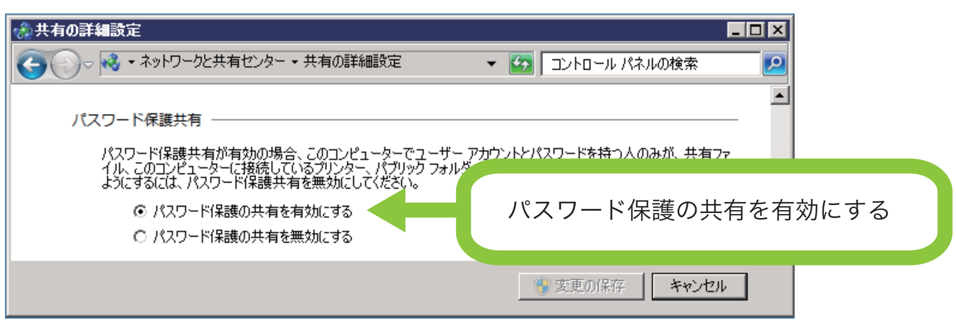
〇パスワード保護共有

（値：パスワード保護の共有を有効にする）

解説：

パスワード保護の共有を無効にしてしまうと、クライントからアクセスは可能ですが、共有設定のセキュリティータブでアクセスが許可された「Everyone」が追加されている共有ポイントのみアクセスすることができます。

また、アクセスの際に「ユーザー名」および「パスワード」の入力を求められません。



③サーバー側にユーザーを追加しましょう
○サーバーマネージャー
　　○構成
　　　　○ローカルユーザーとグループ

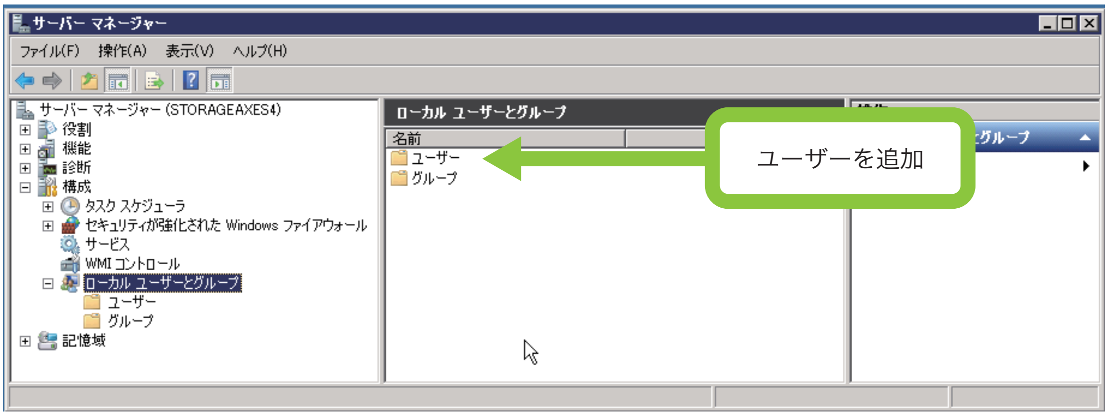
解説：
各クライアント PC へのログインユーザーおよびパスワードをサーバー側にも追加しておくことで、Windows XP および Windows 7 クライアントからアクセスする際に「ユーザー名」および「パスワード」の入力を求められずアクセスできるようになります。

もし、入力を求めるようにしたい場合、下記の工夫が必要となります。

- パスワードをクライアント PC 側のログインパスワードと違うものにする事によって、「パスワード」の入力を求められ、アクセスできるようになります。

注意事項：

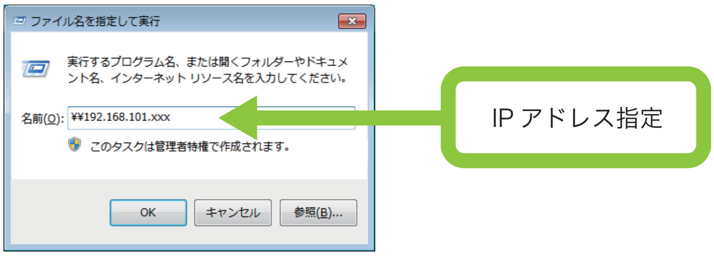
- パスワード「なし」は禁止（サーバーでユーザー追加時）
- クライアント側ログオンパスワード未設定は禁止
- Guest アクセスは禁止



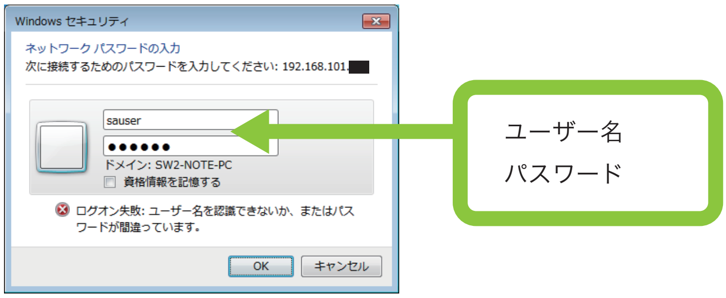
例えば：
Windows 7 搭載の PC から StorageAxes へアクセスする際に必ず「ユーザー名：sauser」および「パスワード：sapass」の入力を求め、認証してからアクセスできるようにしたい。

この場合、①および②の事前準備を行ってください。「ユーザー名：sauser」は、出荷時に登録済みですので③のユーザー追加作業は必要ありません。

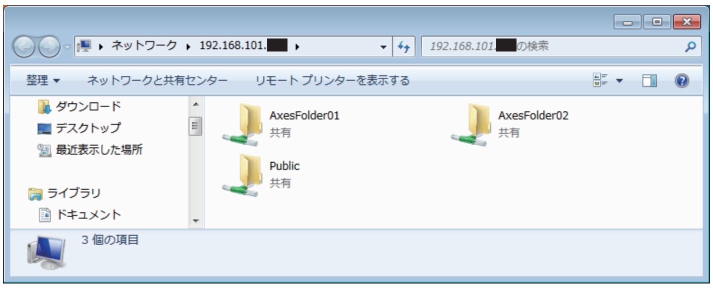
④「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選びます。
「¥¥ サーバーの IP アドレス」を入力して「OK」ボタンをクリックします。



⑤「Windows セキュリティ」ウインドウが表示します。
ユーザー名「sauser」 パスワード「sapass」を入力して「OK」ボタンをクリックします。



⑥認証された場合、サーバーの共有ポイントが表示します。



注意：認証されなかった場合、共有ポイントは表示されず、
下図のウインドウが表示します。設定をご確認ください。

